

受験番号 _____

平成 28 (2016) 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科 博士前期課程 (修士課程)
入学試験問題

第二部門

(日本語教育学位取得プログラム)

論 文 問 題

- ・試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・すべて日本語で解答しなさい。
 - ・**一般・日本語教育経験者**は、A 問題、B 問題、C 問題の 3 つの問題から、2 つの問題を選んで解答しなさい。なお、A 問題、B 問題、C 問題につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
 - ・**外国人留学生**は、A 問題、B 問題、C 問題の 3 つの問題から 1 つの問題を選んで解答しなさい。
- ・解答用紙には、以下のように選択した問題番号を解答の最初に記入すること。
例：A 問題－問題 1 B 問題－①、③⑥⑨ C 問題－問題 2
※上記は例示であり、一般・日本語教育経験者にあっても、選択するのは 2 題である。
- ・解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

第二部門(日本語教育学位取得プログラム)

論文 A 問題

以下の二つの問いのいずれかを選んで、解答しなさい。解答にあたっては、選択した問題番号を明記すること。

問題 1.

日本語母語話者教師が海外で日本語を教える際、または、非日本語母語話者教師が母国で日本語を教える際に、持っておくべき教育上の観点を3つ考え、それらを選んだ理由と、それらをふまえて具体的に何をするかを述べなさい。

日本語母語話者教師か非日本語母語話者教師か、どちらかの立場に立って、解答しなさい。

問題 2.

初級で導入されることの多い「～たほうがいい」という表現には、中・上級レベルの学習者においても、一見、誤用とはとらえにくい以下のような発話が見られることがある。

A：今、原宿のおいしいイタリア料理のお店を探しているんだ。

B：じゃ、田中さんに聞いたほうがいいですよ。

⇒（発話の意図）じゃ、田中さんに聞いてみるといいですよ。

田中さんに聞いてみたらどうですか。

この「誤用」に対して、以下の2つの問いに答えなさい。

- (1) 中級レベルの学習者を想定し、この言い方が「誤用」になる理由について、正用となる文脈と比べつつ、わかるように説明しなさい。
- (2) このような「誤用」が産出される要因にはどのようなことが考えられるかを挙げ、「～たほうがいい」という表現を適切に使えるようにするために教育現場でどのような工夫ができるか、あなた自身の考えを述べなさい。

第二部門(日本語教育学位取得プログラム)

論文 B 問題

【必須問題】①の用語一つ、および【選択問題】②～⑩の用語から三つ、計四つを選び、具体例をあげて説明しなさい。

できるだけ日本語の例をあげること。解答の最初に選択した番号を明記すること。

五つ以上解答した場合は、0点になるので注意すること。

【必須問題】(必ず解答する)

- ①社会言語学

【選択問題】(以下の中から三つ選ぶ)

- ②話者交替 (turn taking)
- ③発話行為 (speech act)
- ④日本語の複合語アクセント規則
- ⑤引用と話法
- ⑥読解ストラテジー
- ⑦文章論
- ⑧比喩の種類
- ⑨理解語彙と使用語彙
- ⑩日本語の文字コード

第二部門(日本語教育学位取得プログラム)

論文 C 問題

以下の二つの問いのいずれかを選んで、解答しなさい。解答の最初に、選択した問題番号を明記すること。

問題1 言語には、話者の属性や社会的地位、会話の状況、話題などに応じて、さまざまなヴァリエーションが存在する。言語教育において、そうしたヴァリエーションをどのように取り扱うべきかを論じなさい。

問題2 日本文化における「継続と断絶」について、具体的な事例を挙げながら述べなさい。